

ようじえんだより 2020年度2月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

2月主題『つながる』

主題聖句：愛は、すべてを完成させるきずなです。

コロサイの信徒への手紙3章14節

- ☆ 0歳児：保育者の祈りに合わせて、神さまに祈る。散歩して冬の外気にふれて、元気に過ごす。保育者や友だちと一緒にいることを喜ぶ。
- ☆ 1～2歳児：自分から神さまに祈ろうとする。全身を動かしたり、手や指を十分に使って遊ぶ。保育者や友だちにも思いがあることに気づく。
- ☆ 3歳児：自分やまわりの人たちのために祈る。体験したことや経験したことがいかされ、遊びや生活をより深く楽しむ。友だちの喜びや悲しみを感ずる。
- ☆ 4～5歳児：友だちやまわりの人のために自分の言葉で祈ろうとする。仲間と一緒にアイデアを出し合い、遊びや生活を作り上げることが喜びとなる。友だちの喜びや悲しみに寄り添う。

Q、卒園後、一人だけ違う小学校に進学することになります。引っ込み思案な子なので親である私も心配しています。最近ではその心配が娘に伝染したようで、「小学校行きたくない」と言っています。こんな娘に何て声をかければいいのかのでしょうか。(6歳 C美ママ)

A. 「大丈夫だよ。一緒にいるよ」の気持ちを伝えてみてください。

C美ママさんの心配な気持ちがよくわかります。私の娘も引っ込み思案で、家ではうるさいくらいにしゃべるのに、外では異常におとなしい子どもでした。小学校5年生で知合いの全くいない十日町小学校に転校してきてどうなることかと思ったのですが、結果としては十日町小学校時代の2年間で彼女は大きく成長し、ビックリするほどに積極性も出てきました。

ありきたりの結論かもしれませんが、「一人だけ違う小学校に進学しても全く問題ありません。

子どもの生きる力を信じて、親としてできる援助をすれば良いでしょう」ということになります。一人だけ違う小学校に進学した子どもに問題行動が多く出たり、学習面に遅れが出るということは聞いたことがありませんし、おそらくそのようなデータはないと思います。

「親としてできる援助」と書きましたが、この時期子どもは小学校進学への期待よりも不安の方が大きいです。そんな時に子どもが話してもいないのに「そんなことしてたら小学生になれないよ!」というマイナスな声掛けは控えた方がいいでしょう。子どもが不安を訴えた時に「大丈夫だよ。ママが(パパが)手伝うよ(助けるよ)」という感じの言葉を伝えるといいと思います。あともうひとつ、できれば小学校の3年生くらいまでは宿題や明日の準備を一緒にしてみてください。子どもが自信をもって小学校生活を始めたなら、そのお手伝いも終わりです。

園長:久保田愛策

年間主題『こころが満たされる』

主題聖句：喜びと平和とであなたがたを満たす
新約聖書 ローマの信徒への手紙15章13節